



薬物乱用防止特設授業開催

9月28日（木）の3校時に、緊急の特設授業を行いました。新聞報道でもありましたが、8月に、本島中部の中学生が薬物で逮捕されるという、あってはならない事件が発生しました。改めて「薬物の怖さ」を知り、「薬物には絶対に近づかない」こと、その認識を深めるため、特設授業を行い教育長メッセージの紹介や乱用防止の動画を視聴しました。



校長によるオンラインでの
県教育長メッセージ朗読



教室での
乱用防止に関する動画の視聴

半嶺満沖縄県教育長メッセージ

今日は、違法薬物の恐ろしさを、真剣に受け止めていただきたいこと、そして、危険な薬物の広がりを食い止めなければならないとの強い思いで、皆さんに、メッセージを送ります。

みなさんもすでに新聞報道などで知っていることと思いますが、今年8月、本県において中学生が、大麻を所持していたとして逮捕されました。

これまで、県教育委員会では、先生方へマニュアルを配布したり、研修会を行ったり、各学校では、外部講師による講話や、保健体育の授業、学級活動などを通して、みなさんが薬物に手を出さないように取り組んできました。しかし、そのような中で、本県中学生が大麻所持で逮捕されたことは、大変残念であり、若者の間で薬物がまん延している現状に、強い衝撃と危機感を感じているとともに、あらためて「極めて深刻な事態」であると受け止めています。

さて、薬物乱用と聞いて、みなさんは、どんなイメージを持っていますか。みなさんもご存じの通り、薬物は1回使用しただけでも「乱用」にあたります。使う回数が増えれば増えるほど、例えば、自分の体に虫が這いつくばっているような感覚や幻覚、いつも誰かに呼ばれているような幻聴、自分が鳥のように飛べるといった妄想、そのような感覚が、いつの間にか、あなたの心をむしばみ、体を破壊していくことになります。薬物は、自分の意志でコントロールできないほど依存性が高く、薬物を入手しようとして犯罪行為を行うなど、普段の生活にも悪影響を及ぼすだけではなく、場合によっては、一度使用しただけで、死亡する恐れもあります。薬物依存症の完治はきわめて難しいことから、みなさんには、「絶対に手を出してはいけない」ことをしっかりと認識してもらい、友だちや先輩などから誘われても、勇気を持って「断る」ことができるようになってほしいと強く願っています。

近年、薬物が密売買される手段として拡大しているのがSNSです。SNS上では大麻などを意味する別の言葉や言い回しを使って危険なサイトへ誘導する内容が多く投稿され、大きな問題となっています。そのような投稿を見つけても絶対に誘いに乗ってはいけません。こういった違法薬物の入手のしやすさの他にも、大麻について、「有害性はない」「少くなら大丈夫」「タバコより害が少ない」などといった誤った情報、闇バイトを代表とする、

買う人に届けるだけで、小遣いが稼げるといった、アルバイト感覚のような罪の意識の低さ、「他人に迷惑をかけなければ、大丈夫」といった考え、「ちょっとだけなら」「友達がやっているから」などの遊び感覚、「カッコいい」などのファッション感覚による使用が、若者の間での増加の要因ではないかと考えられています。しかし、薬物乱用は「犯罪」です。決してカッコいいものではないのです。

みなさんは、学校生活をとおして、正しい行動選択が取れる強い意志を作り上げているところだと思います。しかしながら、ややもすると悪い方向へ向かおうとする親友や仲間がいるかもしれません。その時は声をかけてあげたり、信頼できる大人へ相談するなどして、親友や仲間を救ってあげてください。

繰り返しになりますが、みなさんのまわりには、SNSやインターネットなどから多くの誘惑があります。また、先輩や友人、悪い大人から薬物への誘いがあるかもしれません。そのような誘惑に負けないよう、「薬物はダメ。ゼッタイ！！」と、強く心に誓ってください。我々、大人は、みなさんを危険な薬物から守るため一丸となって、薬物乱用防止に取り組んでいきます。そして、みなさんの夢実現に向けて、私たち大人は全力で応援し、支えます。みんなと一緒に、薬物がまん延していると思われる現状を改善していきましょう。

校長先生の話聞いて、薬物はドラマや海外、大人達だけの事じゃなくて、私達の身近にせまっているのが分かり、とてもこわいなと思いました。これから誰か(大切な友達でも)に誘われても断って、注意をしたり、大人に絶対に言おうと思いました。動画を見て、薬物は「大丈夫だろう」とか、まちがった情報で始めるということが分かりました。身体や心、大切な人を自分で壊してしまうので、誘われても自分の好きなこと、大切な人を思い出すという事をしたいです。この授業で薬物は身近に迫っていること、薬物のまちがった情報をうのみにしてはいけないこと、体や心、大切な人生もこわしてしまうのが分かりました。「薬物使う？」と誘われてもしっかり断ろうと改めて考えることができました。(1年)

自分と年齢に近い人が大麻を使用していたということにビックリしました。中学生でも手に入れられるくらい近くまで危険が迫っているということがこわいなと思いました。また、大麻を1回でも使用してしまうことにより、依存してしまい、他の薬物への入り口(ゲートウェイドラッグ)となってしまうということを初めて知りました。自分の身体や心、また、周りの人にまで、被害が起きてしまうということを学んだので、誘われても絶対使用せず、周りの人にも危険ということを伝えていこうと思いました。(2年)

今日の授業では、改めて薬物にはどのような害があるものなのかということを理解することができた。また、実際に薬物を体験した人のお話を聴くことで、薬物に誘われたらどのように断ればいいのかということを知ることができた。薬物は個人や家族で解決できる問題ではないので、専門の機関に行って適切な対処をすることが重要だということが分かった。(3年)